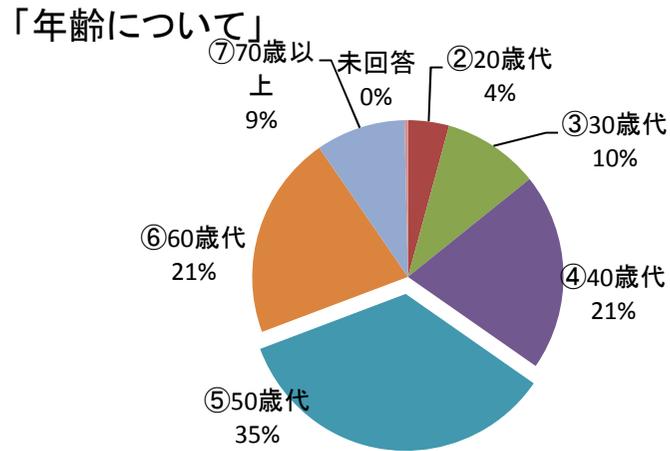
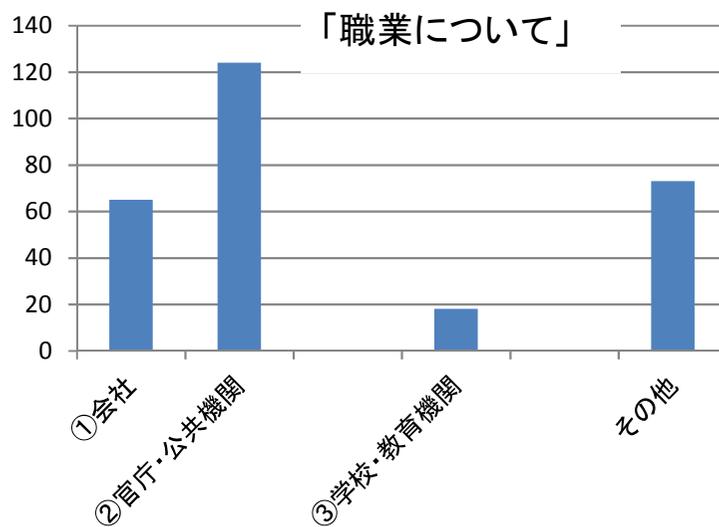


| 1.年齢について | ①20歳未満 | ②20歳代 | ③30歳代 | ④40歳代 | ⑤50歳代 | ⑥60歳代 | ⑦70歳以上 | 未回答 |
|----------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-----|
|          |        | 12    | 28    | 57    | 97    | 59    | 26     | 1   |



| 2.職業について | ①会社 | ②官庁・公共機関 | ③学校・教育機関 | その他 |
|----------|-----|----------|----------|-----|
|          | 65  | 124      | 18       | 73  |



<その他の詳細>

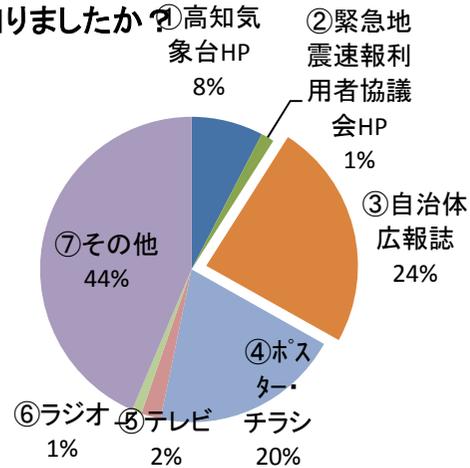
- ◆自営業
- ◆病院・介護施設
- ◆町内会防災役員
- ◆大学工学部退職者
- ◆マスコミ
- ◆ボランティア
- ◆主婦
- ◆自主防災関連・防災連合会
- ◆団体役員
- ◆無職

etc

## 3.この講演をどこで知りましたか？（複数回答あり）

| ①高知気象台HP | ②緊急地震速報利用者協議会HP | ③自治体<br>広報誌 | ④ポスター・<br>チラシ | ⑤テレビ | ⑥ラジオ | ⑦その他 |
|----------|-----------------|-------------|---------------|------|------|------|
| 22       | 4               | 69          | 58            | 6    | 3    | 125  |

どこで知りましたか？

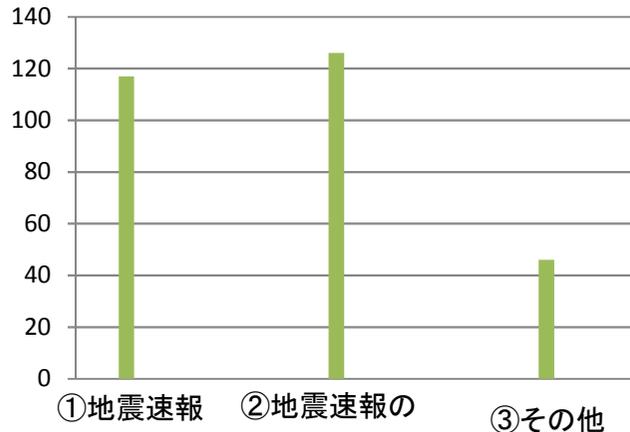


&lt;その他の詳細&gt;

- 職場（41名）
  - 気象台職員や友人から（18名）
  - 高知新聞（14名）
  - 自治会会合・回覧板など（5名）
  - 県庁、高知市HPや職員案内（9名）
- etc

## 4.この講演会の視聴に向かわせた一番の動機はなんですか？

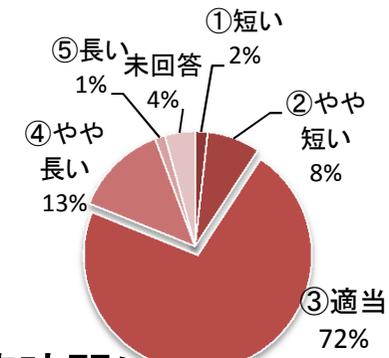
| ①職場（あるいは地域）で緊急地震速報を利用したい | ②緊急地震速報そのものの意義を知りたい | ③その他 |
|--------------------------|---------------------|------|
| 117                      | 126                 | 46   |



&lt;その他の詳細&gt;

- ▲ 防災担当として知識を深めたい・地域の対策に活用したい（10名）
  - ▲ 南海トラフ地震の正しい情報を知りたい（2名）
  - ▲ 最新情報を知りたい（3名）
  - ▲ 緊急地震速報を広く利用して欲しいから
  - ▲ 緊急地震速報の利用価値の確認
- etc

|            |     |       |     |       |     |     |
|------------|-----|-------|-----|-------|-----|-----|
| 5.講演時間について | ①短い | ②やや短い | ③適当 | ④やや長い | ⑤長い | 未回答 |
|            | 5   | 21    | 201 | 37    | 4   | 12  |



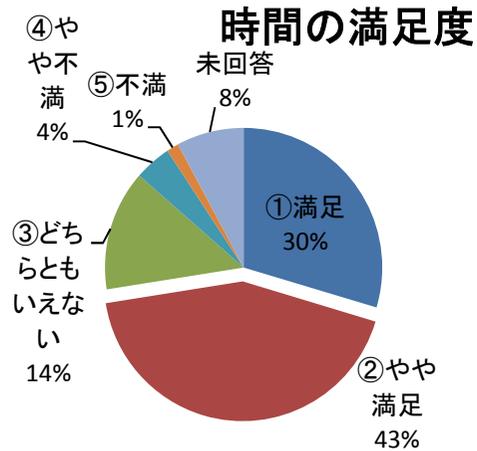
講演時間について

6. 今回の講演会でいちばんご関心を持った演題について(複数回答あり)

|                      |      |
|----------------------|------|
| ①懸念される南海トラフ巨大地震      | 52名  |
| ②地震・津波災害から生命をまもるために  | 63名  |
| ③緊急地震速報の現状とこれからの取り組み | 188名 |

7. 今回の講演会について構成・内容等総合的にどのくらい満足していますか

|     |       |            |       |     |     |
|-----|-------|------------|-------|-----|-----|
| ①満足 | ②やや満足 | ③どちらともいえない | ④やや不満 | ⑤不満 | 未回答 |
| 83  | 120   | 39         | 12    | 4   | 22  |



## 6. 今回の講演でいちばんご関心をもった演題について

### ①懸念される南海トラフ巨大地震

- ・家庭での防災について知りたかった。
- ・最近の地震と火山噴火が連動性があるのか知りたかったが話が出なくて残念
- ・被害が予想される沿岸沿いに設備があり、管理しているから。
- ・地震の仕組みを知りたかったから。
- ・講師が有名な方なので興味があったから。
- ・BCP検討に参考になる情報がありそうだったから。
- ・身近な話題だから。
- ・具体的な対策や、心構えが知りたかったから。
- ・自分の住んでいるところは大丈夫なのかと、思って。
- ・仕事に関する基礎知識になる。参考になった。(3名)
- ・配信事業者だから
- ・南海トラフについて知りたかった。

### ②地震・津波災害から生命をまもるために

- ・生命を守るため、必要だと思ったから。話を聞いて少しでも被害を少なくしたい。(4名)
- ・町内防災会の防災士なので知識を得たいと思って。
- ・対策が遅れていると思うから。
- ・具体的な対策や、心構えが知りたかったから。
- ・家具転倒防止を本気で考えようと思って。
- ・話が分かり易くて良かった。(4名)
- ・津波シュミレーション

### ③緊急地震速報の現状とこれからの取り組み

- ・もっと詳しく知りたいと思ったので。(3名)
- ・高地では、あまり速報が鳴っていないのでもっと知りたい。
- ・今まで①や②に関しての話は良く聞いたが、③の緊急地震速報は初めてだったから。(6名)
- ・速報があって、その後直ちにどう行動するかが重要で、知りたいと思った。(4名)
- ・実務的だと思ったから。具体的、専門的で良かった。(3名)
- ・緊急地震速報に関してあまり知らなかったから。
- ・緊急地震速報の認知度と導入率を知りたかったから。
- ・四国での認知度が低すぎて驚いた。
- ・目的にあっていたから
- ・各種・各機関各レベルでの取り組みが不詳である現実を理解すべき
- ・活用の仕方を学びたい・自治会での防災に役立てたい(3名)
- ・配信機器による、配信時間の差を初めて知った。
- ・知らないことが多かった(2名)
- ・地震のメカニズムをしるより、命を守るのに役に立つと思ったから。
- ・システムの現状と利用方法が知りたい(7名)
- ・聴覚障害を持っていて、通報が目に見えてわかるかあるいは、振動で分かるようになっているのか心配。
- ・現状をデータで示してもらえたので分かり易かった。
- ・気象庁での勉強会以来、気象庁サイドの話を知りたかったから。
- ・最新情報を知りたい(2名)
- ・重要性を理解していなかったから。認知度を上げる必要がある。(4名)
- ・予報について知らなかったが、仕組みが分かった。(2名)
- ・荒谷台長の話がわかり易い。
- ・県や高知市の取り組みと現状が分かった。
- ・公共交通事業に携わっており、情報伝達方法に関心があったから。
- ・警報音に違いがある。
- ・地域で利用拡大が出来るのか判断するため。

## 7. 講演会に満足しましたか

### ①満足

- ・高知県の現状について知ることが出来た。
- ・5連動地震とは？その巨大イメージが実感としてなかったので知りたかった。
- ・地震のメカニズムを知りたい。
- ・今後の課題が分かって良かった。
- ・地震対策の具体的なヒントになった。(3名)
- ・良く分かった。分かり易かった。(3名)
- ・気になっていたことが聞けて良かった。
- ・科学的データを基にした講演だった。
- ・心配だった南海トラフとその具体的対策を講演してもらい緊急地震速報の現状と今後についてさらに詳しく教えてもらい、参考になりました。
- ・南海トラフや、緊急地震速報の詳細を知り役立てたい。
- ・各分野を広く学べた。(3名)
- ・市民の関心が広まった。

### ②やや満足

- ・東大の先生の話がやや物足りない。
- ・現状と課題を考えるきっかけになった。
- ・出来れば、高知をメインにした話が聞きたかった。
- ・もっと具体例を提示して欲しい。
- ・分かり易かった。(3名)
- ・動画があつて良かった。
- ・知りたい内容と講演内容に差があつた。
- ・予報は、今日の講義で初めて知った。活用したい。
- ・内容が重複する箇所が多かった。
- ・気象台長の具体的な話がなくて良かった。
- ・想定は、聞いていた内容と同じ話が多かった。
- ・南海トラフや生命を守るということに関して新しい情報が無かった。
- ・具体的予報システムは、どのようなものがあるか知りたかった。
- ・知りたかったことが分かった。仕組みが分かった。
- ・一つ一つのテーマをしっかり聞きたいと思った。
- ・学者先生の話は、1題で十分だった。
- ・荒谷さんの話が聞きやすくて良かった。
- ・身近に感じた。重要性が分かった。(2名)
- ・とても興味深く聞きました。
- ・時間配分をもっと工夫して欲しい。既知のことに時間を掛けすぎ。

### ③どちらともいえない

- ・これまでの情報で知っていることばかりだった。(4名)
- ・もう少し、短時間で出来たのでは。(内容をまとめて)
- ・高知、四国に視点を置いた情報が少ない。(2名)
- ・勉強にはなったが、日々の防災にどう活かせるのか分からない。
- ・短い
- ・難しかった。
- ・緊急地震速報に絞ったで一まで良いと思った。
- ・内容が興味の持てるものが少なかった。

#### ④やや不満

- ・専門的立場からの説明は良いが、具体例を聞きたかった。(地震予知に関して)(2名)
- ・内容が全体的に初歩的なものばかりだった。
- ・具体例が知りたい。(2名)
- ・講演の①南海トラフ地震と、②地震・津波から生命をまもるの演目がだぶっていた。
- ・津波シミュレーションの11ケース等もっと詳しく知りたかった。
- ・具体的歪の蓄積状況等の説明が欲しい。

#### ⑤不満

- ・荒谷さんの話だけで、良いのでは？(2名)
- ・分かり易い資料が欲しい。(2名)

---

## 8. 緊急地震速報に関するご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

---

- ・ 1回5分でも良いので休憩が欲しい (3名)
- ・ ありがとうございます。参考になりました。(2名)
- ・ 緊急地震情報の状況が良く分かった。(2名)
- ・ 携帯電話は、有効と思うが、地震とわかるのに時間がかかる。音声で流して欲しい。
- ・ 警報音の統一を望みます。NHKが著作権を理由に他で使えないとしているなら、新たな統一音を望みます。
- ・ 緊急地震速報は、身を守るため重要な情報だと分かった。もっと普及・周知をして欲しい(4名)
- ・ 自分、阪神大震災を体験しているが、高知県民は、地震の恐ろしさを認識していない。
- ・ 警報に関心が薄いのもっと情報が必要。
- ・ 緊急地震速報がこれから更に改善されていくことが分かって良かった。
- ・ 専門的なことから、実際に活用されることまで、会の構成が良かった。
- ・ ①と②の演題に関する資料が小さすぎて見えずらい。③は良く分かった。
- ・ 高知では、地震への対応・行動力の認識が低い(活用訓練の重要性が分かった)
- ・ 実際に役立つ情報が多かった。
- ・ 地震と津波の危険性を再認識できた。
- ・ 身近に感じた。(2名)
- ・ 実際対応が出来ていないことがデータで分かって納得した。
- ・ 地震速報に予報があることは知っていたが、気象庁の資料を見ても分からなかったが、少し理解できた。
- ・ 高知の地震速報は、何度もいろいろな方に話を聞きたい。それぞれの捕まえ所も違うので面白い。
- ・ 何度も、勉強したい。特に、高知のことを知りたいと思う。
- ・ もっと南海トラフの話を詳しく聞きたかった。
- ・ 毎日予報しているらしいがよくわからない。Telでも説明が分からない。(NO. 93)
- ・ 実際の訓練に参考になった。
- ・ 緊急地震速報が、聴覚だけでなく目や振動など他の器官で分かるものにして欲しい。
- ・ 地域でも、訓練するときに速報の音源が欲しい
- ・ 実生活に生かされた事例が多く良かった。
- ・ 緊急地震速報の精度をより上げてください。(3名)
- ・ 速報を得ることより、その後どのように行動するかを社内訓練で生かしたい。
- ・ 地震の仕組みが良く分かった
- ・ もっと、高知や四国の情報が欲しい(2名)
- ・ 良い話を聞かせていただき、ありがとうございます。(2名)
- ・ 予報の値段は、いくらでしょうか？
- ・ テレビ・ラジオでの報知音。受信したら音量を大きくして欲しい
- ・ 全ての講師の資料を欲しかった。防災士会からの話も聞きたい。
- ・ 知らないことが多かったが、分かり易かった。(2名)
- ・ 緊急地震速報を活用したいと思う。
- ・ 気象台長の話が良かった。
- ・ 地震が来たとき、津波が川を上る様子など具体的に動画で見たかった。
- ・ 自分で身を守る事。日頃からの訓練が大切だと分かった。
- ・ これからもこのような講演を開催して欲しい

- ・ 小学校に卒業生が緊急地震速報の装置を寄贈しました。新しい受信装置システムに期待します。
- ・ 高知市内、どこに居ても緊急地震速報を聞けるようにして欲しい。
- ・ オオカミ少年になっては効果がないので、はずれ時の避難を恐れず、また安全ガイドの行き過ぎが無いようにと、思っていたが、NHKで全国のを見聞きするからそのような感覚だったのが分かった。
- ・ 講師2名が同じ資料で、同じ話は、もったいない。
- ・ 荒谷さんの話が良かった。これからも高知県民の命を守る取り組みをして欲しい(2名)
- ・ 緊急地震速報を広く周知してもらえるよう、自分も頑張りたい。(2名)
- ・ 資料が小さくてよく見えない・資料をもっと充実させて欲しい(2名)
- ・ 高知県の取り組みや、海外の取り組みを知りたい。
- ・ 緊急地震速報が正確に発せられ、それを活用することが大切だと感じた。
- ・ 活用できるようにしっかり準備したい。(2名)
- ・ 防災無線は、良く聞き取れなかったので、不安です。(2名) no.233/no234-A
- ・ 気象台を中心に各市町村に緊急地震速報の説明に行って欲しい。また、数十秒で出来ることを教えてほしい。
- ・ 実際に携帯電話を使った訓練をして欲しかった。DoCoMoだけでなくauやソフトバンクは、大丈夫なのか？
- ・ 速報が発令された時のパニックの対処・対応が気になる。
- ・ 8年たってもあまり進歩していないのが分かった。予想は難しいことが分かった。
- ・ 精度が上がっていない中で、何を伝えたいための講演会だったのか分からない。
- ・ 緊急地震速報の音が焦燥感を煽っている。もっとソフトな音にして欲しい。
- ・ 気象や、地震速報など関係者に敬意を表します。